

2022年10月 浜松聖書集会のご案内

(時間: 午前10時 ~ 正午)

- 10月 2日 (日) 集会 (クリエート浜松 51号室)
司会・感話: 大手 美千代
聖書講話: マルコによる福音書 13章1~13節
「神殿の崩壊の予告、その1 終末の徴」 水戸 潔
- 10月 9日 (日) 集会 (アクト研修交流センター 36セミナー室)
司会: 生江 扶左子
聖書講話: マタイによる福音書 6章13節
「主イエスの祈り 一私たちを誘惑に導かないで下さい」 堀澤 六郎
- 10月23日 (日) 集会 (アクト研修交流センター 36セミナー室)
司会: 溝口 春江 感話: 伊藤 純子
聖書講話: エレミヤ記15章15~16節、同24章3-7節
「歴史の中のエレミヤ」 永井 徹
- 10月30日 (日) 集会 (アクト研修交流センター 36セミナー室)
司会: 岩田 堯 感話: 大屋 智代
聖書講話: イザヤ書 63章1~14節
「わたしはただひとりで酒ぶねを踏んだ」 武井 陽一

・・・・・・・・・・通 信・・・・・・・・・・

- 「みぎわ62号」は11月3日に発行予定です。用いられますようにお祈りください。
○ 10月16日予定であった 県下合同集会は 今年も中止としました。
○ 11月3日、無教会全国集会が ZOOMで開催され、水戸潔さんが「非戦・降伏という選択」と題して主題講演します。10月20日が申し込み締め切り日です。

人生の目的

溝口 正

内村鑑三は「神はわがすべてなり。神を失うてわれはわがすべてを失うなり。われらに父を示したまえ。さらばたれり。わが全生涯の目的は、神を見、彼をわがものとなすにあり、その他にあらず」(『一日一生』1月12日)と語った。

これを読みつつ、イエスの弟子ピリポが「主よ、わたしたちに父を示して下さい」(ヨハネ14・8)と、主につめ寄ったことを思い出した。

主イエスは「ピリポよ、こんなに長くあなたがたと一緒にいるのに、わたしがわかっていないのか。わたしを見た者は、父を見たのである。どうして、わたしたちに父を示してほしいと、言うのか」(ヨハネ14・9)と、答えられた。

内村鑑三は、全存在を傾けて罪のあがない主、イエス・キリストを信じた人であった。心をイエスにあげ渡し、彼にすがって人生を生きただけの人であった。それ故、彼は霊の目をもって常にイエスを見て生きてきた人であった。そうだ、イエス・キリストを通して常に父なる神を見ていた人であった。

内村が全生涯の目的として希求した「神を見、彼をわがものとなす」ことは、キリストと共に生きることによって達成されていたのであった。神を見たいと願う者は、イエス・キリストの下に来て、彼を信じればよい。

(『復活』350号 1995年11月)